

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h940000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h940000000pqh.html)

えりも中でえり高生徒会も参加し、いじめ撲滅集会 54年会在7回目のピンクTシャツを贈呈



えり中学生会とえり高生徒会の役員が全校の中学生にいじめ撲滅の宣言を述べ訴えました

○えりも中学校とえりも高校では、互いの生徒会が中心になって「いじめ撲滅集会」を毎年行っています。今年は10月1日にえりも高校の生徒会が中学校を訪れ、中学生に呼びかけました。また、先輩の54年会の代表とえりも町人権擁護委員の4人の方々も出席し、いじめのない学校にしようと呼びかけました。

54年会 五十嵐庸公さん呼びかけ



○みなさん、こんにちは。いじめ撲滅運動も今年で7回目となりました。毎年このように呼んでいただき本当にありがとうございます。

○僕たち54年会は、このえりも中学校、そして、えりも高校の卒業生で、平成17年に仲間57名で結成されました。

○僕らの年代も、このえりも町に何かしら貢献できたと思い、みんなの士気が高まり結成することとなりました。

○最初の活動は、同級生などの結婚式で派手なパフォーマンスでたくさんの人に笑いと喜びを届けていました。その後、各地域の秋祭りから始まり、灯台まつりや、うに祭りなどで出店していました。

○その売り上げた資金をえりも町のために使えないかとみんなで考えていたところ、「ピンクのTシャツ」の話聞き、「それならば中学生の皆さんに届けたい」と話がまとまりこの様

な運びとなりました。

○生徒さんたちからすれば、大変身勝手な僕らの行動かもしれないけれど、僕らも中学校時代に、今考えて思うと、少なからずいじめはあったと感じます。

○「どうしてあの時、あんなことをしてしまったのだろう？どうしてあの様な事も言ってあげられなかったのだろう？どうしてあんなことをしてしまったのだろう？どうして助けてあげられなかったのだろう？」と、学生時代、そして、今もそう思うときもあります。

○どうせ皆で生きていくなれば、楽しい方がいい。すんごく素敵な学生生活を送ってもらいたい。共同生活の大切さやコミュニケーション、そして助け合うことを学び、団体行動の中で一人の人間としてどんどん成長してもらいたいと願っています。

○以前、ここで話ししました「ありがとう」の大切さ、ありがとうは自分と周りを幸せにしてくれる言葉です。みなさんもありがとうと言われたら嬉しいですね？嫌いですか？ありがとうを増やすだけで和むんです。

○この学校で一人一人が一日感謝されることを3回やったならば、この学校は「ありがとう」だらけに包まれ、とてもポジティブにいられると思います。えりも町から北海道・日本・世界へと広がればこの世界から戦争なんて無くなってしまふ、争いなんて無くなってしまいます。

○このピンクTシャツもたった二人の少年の行動が全世界に広がった。皆さん一人一人の行動や思いは限りなく沢山の人を和まし、勇気づけると思います。「ありがとう」を増やして今まで以上に充実した学校生活を過ごしてください。

ピンクTシャツの謂れ、町人権擁護委員の皆さんの呼びかけ感謝

○2007年、カナダで中学3年生の男の子がピンク色のTシャツを着ていたことで、いじめられたことをきっかけに始まった運動です。
○最初はいじめ撲滅に賛成した学生が50枚のピンク色のTシャツを着て運動を始めましたが、それが州の政治家の人達がいじめ撲滅の日を設置するなど、カナダ全土にその運動が広がりました。
○今では、カナダだけでなく25か国がこの運動に参加しており、国連も正式に2012年、5月4日をAnti-Bullying Dayとしました。



えりも町人権擁護委員の皆さんの呼びかけ

○また、毎年、いじめ撲滅集会にはえりも町人権擁護委員の皆さんが訪れ、中学生に「いじめのない中学校生活」を呼びかける活動をしています。今年も参加しましたが、中学生にとっても地域の方のこうした声掛けがいじめを考慮防止に役立つ一つになっています。

東洋小の児童が1日えりも小で学習、また3人の先生も授業

～統合に向け、よりよい学びの環境づくり～



4年生で授業を行う東洋小の粕谷先生

○10月21日、東洋小学校の全児童12名が1時間目から6時間目の1日をえりも小学校の各学級に入って学習をしました。
○昨年度から、週に2回、2時間程度、えりも小学校で学習に参加していますが、今回初めて休み時間や給食も一緒に1日の全てをえりも小学校で過ごしました。
○また、東洋小学校の3人の先生（三浦良美・粕谷奈美・上居孝壮教諭）が、音楽、道徳、書写、図工の授業を受け持って教えました。写真は4年生教室で、東洋小4年生の1名が学習に参加する中、粕谷奈美先生が道徳の授業を行いました。児童が活発に自分の考えを発表していたのがとても印象的でした。

道立美術館移動美術館に児童生徒が見学

○移動美術展が10月5日から町福祉センターで開催され、町内の小中高が訪れてワークシートを用いて絵画鑑賞し、見識を高めていました。
○学芸員による講義や解説を聞いた庶野小学校生の感想文を紹介します。

『もっと美術作品を見てみたいと思いました。題名通りのものが描かれていてすごいと思いました。作者が伝えたいことが絵に出ていてすごいと思いました。』

(庶野小6年 山崎竜輝君)



『“都無ぢ“が不思議で、隙間からずっと奥の方に続いているような感じでおもしろかったです。また、“母と娘”がピーマンらしきものの皮を包丁でむいていて、動いているのを想像しました。それを描いた人が林竹治郎さんのお弟子さんで二人とも絵と彫刻をしています。“地球・・・そして今は”という題名で不思議だなあと考えてみたら、油絵のように見えたのに版画でできていて「ええ、版画でこんなのできるの」と友達と一緒に驚きました。』
(庶野小5年 佐藤芹南さん)